



メディア環境研究所「第1回 メディアイノベーション 調査」を実施

次世代のメディア環境と連携する 「生活6領域の技術革新」に対するニーズが明らかに

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所(本社:東京都港区、所長:吉川昌孝)は、「第1回メディアイノベーション調査」を実施いたしました。

メディア環境研究所では、IoTやAIなどのテクノロジーにより、今後、生活者を取りまくメディア環境は拡張し、メディア以外の様々な生活サービスとも連携していくと予想しています。そうした視点から、次世代のメディア環境に連携すると考えられる生活領域のイノベーションについて生活者ニーズを調査しました。第1回の本調査では、近年注目を集めている「買物支援」、「健康・運動支援」、「新しいメディア・情報サービス」、「VR(仮想現実)で生まれるコンテンツ」、「運転支援」、「音声操作」の6つの生活領域に焦点をあてています。以下、調査で得られた主なファインディングスをご紹介します。

①先端サービスの興味度トップ5

- 1位 商品をカゴに入れるだけで決済が完了する**無人店舗(38.9%)**【買物支援】
- 2位 **健康**状態がわかる、心拍や体温の**測定センサー付き体重計(29.4%)**【健康・運動支援】
- 3位 **快眠**できるような最適な角度や温度を調整してくれる**ベッド(28.1%)**【健康・運動支援】
- 4位 Wi-Fi経由で**映画**等を**TVで視聴**できる**小型スティック(25.7%)**【新しいメディア・情報サービス】
- 5位 VR対応機器で没入感の高い映像で楽しめる**音楽コンテンツ(23.7%)**【VRで生まれるコンテンツ】

②先端サービスの値ごろ感

スマートスピーカーは10,000円弱、VRコンテンツは5,000円未満。

③スマートフォン・タブレットで音声入力/音声検索を利用している割合

全体の24.3%。特に10代男女で3割を超える。

■第1回メディアイノベーション調査 概要

調査エリア: 全国
調査方法: インターネット調査
調査対象者: 15~69歳の男女(全国8地区人口比で割付)
サンプル数: 6,214サンプル
調査期間: 2017年3月17日(金)~3月21日(火)

■お問い合わせ先

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ
広報室 江渡・山碕 03-6441-6161

1) 先端サービスへの興味

生活6領域(「買物支援」、「健康・運動支援」、「新しいメディア・情報サービス」、「VRで生まれるコンテンツ」、「運転支援」、「音声操作」)の先端サービスへの興味について尋ねた。調査対象者(6,214サンプル)で、最もスコアが高かったのは、買物支援の「商品をカゴに入れるだけで決済が完了する無人店舗(38.9%)」がトップ、続いて「健康状態がわかる、心拍や体温の測定センサー付き体重計(29.4%)」、「快眠できるよう最適な角度や温度を調整してくれるベッド(28.1%)」、「Wi-Fi経由で映画等をTVで視聴できる小型スティック(25.7%)」、「VR対応機器で、没入感の高い映像で音楽を楽しめる(23.7%)」の順となった。

生活者は特定の生活領域に偏ることなく、6つの領域のそれぞれで生活イノベーションに対し興味を持っていることが伺える。

図表1 先端サービスへの興味

Q. 今後、人工知能などの新しい技術によって可能になると言われている以下のサービスのうち、(知っているかどうかに関わらず)あなたが興味があるものをすべてお選びください。



2) 先端サービスの値ごろ感

VRコンテンツの値ごろ感としては3,000円～5,000円程度、またスマートスピーカーは10,000円弱、音声連携する照明や空調機器は15,000円強となった。(図表2-1)。また、月額課金(図表2-2)については、運転中の家電やエンタテインメント連携が月5,000円以上と、自動車連携のサービスが比較的高いスコアとなった。

図表2-1 先端サービスの機器/コンテンツ購入の費用

Q.あなたが「利用してみたい」とお答えになったサービスについて、どの程度までなら費用がかかってもよいと思いますか。それぞれのサービスごとにお答えください。
※お金を払ってまで利用したくないという場合は「0円」とお答えください。

購入費 50,000円以上	音声操作	音声だけで食品や飲物の買物が完了できる冷蔵庫	76,572円
	健康・運動支援	快眠できるよう最適な角度や温度を調整してくれるベッド	53,859円
	音声操作	簡単な話など音声でコミュニケーションがとれるロボット	50,749円
20,000円以上	新しいメディア・情報サービス	自分が知りたい情報が表示され把握できる食卓のテーブル	28,072円
	新しいメディア・情報サービス	必要な時にだけスクリーンになる、窓や棚のガラス	27,151円
	VRで生まれるコンテンツ	没入感の高い映像でゲームを楽しめるVR機器	24,150円
	VRで生まれるコンテンツ	没入感の高い映像で音楽を楽しめるVR機器	23,965円
	VRで生まれるコンテンツ	没入感の高い映像でスポーツを楽しめるVR機器	23,852円
	VRで生まれるコンテンツ	没入感の高い映像でライブ感のある教育コンテンツを楽しめるVR機器	23,585円
	VRで生まれるコンテンツ	没入感の高い映像で旅行にいったような映像を楽しめるVR機器	22,717円
10,000円以上	新しいメディア・情報サービス	好きな場所に映像を投影できる小型のプロジェクター	19,030円
	健康・運動支援	他の機器とデータ連携し、最適なサプリメントを自動調合する機器	17,845円
	音声操作	音声だけで操作ができる照明や空調機器	15,853円
	新しいメディア・情報サービス	一日の予定や交通情報などが表示され把握できる鏡	13,924円
5,000円以上	音声操作	好きな音楽を、音声だけで操作できる小型スピーカー	9,686円
	音声操作	必要なニュースを、音声だけで操作できる小型スピーカー	9,446円
	健康・運動支援	必要な運動メニューが分かるセンサー付きのスニーカー	9,154円
	音声操作	知りたいことを音声でアシスタントしてくれるイヤホン	9,031円
	健康・運動支援	健康状態がわかる、心拍や体温の測定センサー付き体重計	8,575円
	音声操作	家事で分からないことを音声で応える小型スピーカー	8,238円
	新しいメディア・情報サービス	Wi-Fi経由で映画等をTVで視聴できる小型スティック	6,196円
	買物支援	ゴミ箱の小型センサーで、捨てた日用品を判断・自動補充	5,443円
3,000円以上	VRで生まれるコンテンツ	没入感の高い映像で楽しめるゲーム系VRコンテンツ	4,879円
	VRで生まれるコンテンツ	没入感の高い映像で楽しめる音楽系VRコンテンツ	3,725円
	VRで生まれるコンテンツ	没入感の高い映像でライブ感のある教育系VRコンテンツ	3,620円
	VRで生まれるコンテンツ	没入感の高い映像で楽しめるスポーツ系VRコンテンツ	3,605円
	VRで生まれるコンテンツ	没入感の高い映像で楽しめる旅行系VRコンテンツ	3,326円

図表2-2 先端サービスの月額課金の費用

Q.あなたが「利用してみたい」とお答えになったサービスについて、どの程度までなら費用がかかってもよいと思いますか。それぞれのサービスごとにお答えください。
※お金を払ってまで利用したくないという場合は「0円」とお答えください。

月額 5,000円 以上	運転支援	運転中も音声だけで、家の照明・空調などが操作可能	7,200円
	運転支援	運転中も音声だけで、車載エンタテインメントが操作可能	6,126円
1,000円 以上	健康・運動支援	快眠できるよう最適な角度や温度を調整してくれるベッド連携サービス	1,806円
	健康・運動支援	必要な運動メニューがわかる、センサー付きのスニーカー連携サービス	1,646円
	健康・運動支援	他の機器とデータ連携し、最適なサプリメントを自動調合するサービス	1,553円
	健康・運動支援	健康状態がわかる、心拍や体温の測定センサー付き体重計連携サービス	1,180円
0円	買物支援	小型ボタンを押すだけで、登録した日用品が自宅まで届くサービスの会員費	302円
	買物支援	ドローンなど無人小型配送機械による24時間配達サービスの会員費	248円
	買物支援	商品をカゴに入れるだけで決済が完了する無人店舗の会員費	196円

3) 音声入力の実態

次世代の生活における技術革新のひとつとして、音声認識によるボイスユーザーインターフェースが注目されているが、国内での音声入力や音声検索を行っている生活者の割合を調べたところ、利用者の割合は調査対象者全体で24.3%にのぼっていることが分かった。性年代別でみると、男女10代の利用率が30%を越え最も高い結果となった。また、それ以外の性年代でもそれぞれ20%前後が利用しており、着実に利用されつつあることがわかる。性別でみると、全年代で男性が女性より高い割合となっている。

図表3 音声入力・音声検索の利用率

Q.あなたはふだん、スマートフォンやタブレットなどの機器で、音声入力や音声検索を利用していますか。

